大切なのはへこたれない精神力!?

小説を書き続けるための４つのアドバイス

書き上げたけれど気に入らない、応募したが落選した、読ませた友達の反応が悪い…そんなアナタへ！

これまでに書いた小説を読み返してみよう！

主観で書いた物語も時間をおけば、客観（冷静に）で読むことができる。新しい小説にかかる前に、かつて書いた作品を読み直し、いい点、悪い点を次の作品に反映させよう！

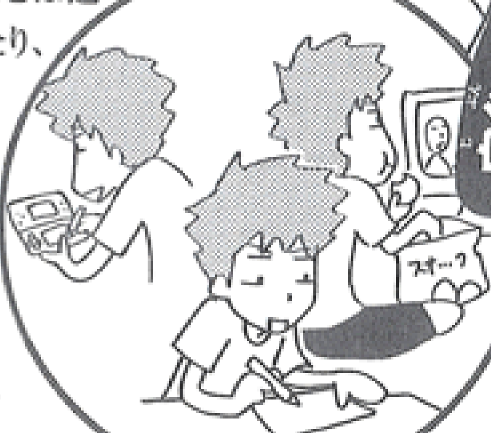
これいいじゃん…
これもいいじゃん!! オレ天才ー！

自分の文章の短所をほかの小説を読んで知る！

自分の小説は、書かなくていいことばかり書いてあるのではないか……たくさん小説を（あるいは好きな小説を何度も）読んでわかることがある。自分の小説のムダなところ、足りない何かを見つけることにつなげよう！

小説を書くことは特別な行為ではない！

小説を書くことは遊んだり、テレビを見たり、ごはんを食べたりすることと同じで、特別なことと思わなくていい。まずは気楽に、机に向かってみよう！



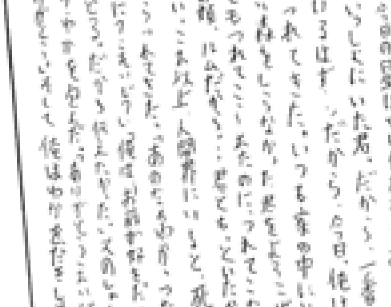
自分がもつすべてのエネルギーをそそぐ！

一字一句魂を込めて書く。"書きたい！"と思うエネルギーを文章にそそぎ込もう。そうすれば必ず、読み手に届く力をもった作品が書き上げられるぞ！

ハガキ文学大発表！

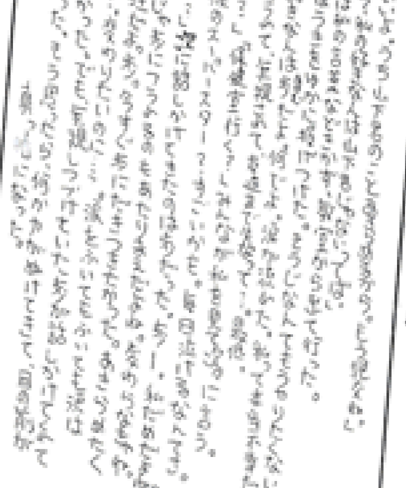
今月のすらすら賞 2本!!

後藤みちか／大分県



えいじのゆかを思う気持ちが、素直に表現されている。ラブストーリーは直球！　そんな書き手の熱が伝わってくる作品だ。

ケリーダ／神奈川県



失恋した主人公のやりきれなさをうまく描いている。会話文も自然でよい。この物語をふくらませ、長文に挑戦してみよう。

最後にふたりにひと言。書きたいことを書きたいように書くといい。それが「キミの」小説になるぞ。わかったかな？

ハイ！これからも楽しんで書いていきまーす！

「12歳の文学賞」二次審査通過作品は48ページで発表！

イラスト＆題字／そにしけんじ
デザイン／菅野加代子　構成／古川

万年筆先生の文学さらさらメモ

世の中にたくさんある公募文学賞。なかには変わった名前の賞がある。それが「タイトルが先だ！文学賞」だ（主催／角川デジックスほか・18年度は4月30日に締め切られた）。まずは小説のタイトルを、次にキャッチコピー、表紙イラストを募集。パッケージがすべてそろったところで、小説を募集するというもの。このユニークなシステムに、興味がある人は次回挑戦してみては？